



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集*渡部
Tel 046-223-0110

暴力団に対する取締りの強化

暴力団は、活動資金を得るために、違法薬物の密売や振り込め詐欺に関与しているほか、繁華街や住宅街において、拳銃を使用した対立抗争事件を敢行するなど、社会全体に大きな不安と脅威を与えています。

神奈川県警察では、暴力団のいない安心して暮らせる社会を実現するため、暴力団に対する取締りを強化しています。

- ◎ 次のようなことを見たり聞いたりしたことはありませんか?
 - 暴力団から、「お付き合い」などと称して「用心棒代」や「みかじめ料」等の名目でお金を要求されたり、おしごりや飲料水、正月飾り等の購入を要求された。
 - 交通事故の示談交渉や債権、債務の交渉、不動産の売買等に暴力団が介入してきた。
 - 暴力団から、拳銃や覚醒剤、中身の分からぬ箱等を預かるように依頼された。
 - 暴力団が経営したり、暴力団員風の男らが出入りしている店や会社がある。

※ このようなことを見たり聞いたりした場合や、暴力団等に関する困りごとや相談がある場合は、最寄の警察署又は下記の連絡先で受け付けています。

県民の皆様からの情報提供をお待ちしています。
『神奈川県警察本部暴力団対策課』
不当要求拒絶コール（フリーダイヤル）
0120-707042（かくわい要求）

違法駐車をなくそう！！

「通学路 あなたの駐車で 危険な道路」

事 件 記 錄 板

8月中旬から9月中旬までの事件は、

9月18日午後8時45分ころ、清水ヶ丘団地周辺で熊の目撃情報がありました。足跡は発見されましたが、被害もなく、熊の発見はありませんでした。

その他、軽微な物件交通事故の発生はあるものの、重傷交通事故や侵入盗犯等の事件の発生はありませんでした。

駐在所の独り言

～苦悩体験から人生の成功をもたらす～

9月4日に厚木警察署新署長の清水昭人署長が着任しました。年齢は56歳で長野県出身とのことです。警察官を拝命から今まで、順風満帆（じゅんぷうまんばん）に来られた方と誰もが思っていましたが、署長になるまでの過去に苦腦もあったことを聞きました。こうした苦腦の経験があるからこそ明るい未来の希望が持てるという素晴らしい話を聞かせて頂きました。私自身学生の頃は、親から「若い時の苦労は買ってでもしろ」と言っていたのを思い出します。また学生時代に輝く事が出来なかつた人が社会人になって成功している同級生も思い出します。自分の苦惱や苦労での目線から脱却し、あらゆる可能性を考え、またそうした広い目を持つこと。思い込みや〇〇だろうと安易に考えることをしない。希望を持ち、結果として高い社会性と向上心を持つということでしょうか。失敗から学んだことは失敗した方しか分からぬ貴重な話でした。また失敗つまり負の話を堂々と話せるのは、素晴らしいです。こうした雰囲気と話が出来れば、今後署員同士が悩みや相談も気軽に話せる環境になると思います。人は、誰もがこうした苦労や悩みは大なり小なりあると思います。誰でも持つ悩みや苦惱は決して恥ずかしいことではありません。その後のプロセスが最も大切ですね。今後明るく前向きに頑張って行きたいです。そして県民、村民から信頼される安心して暮らせる街づくりのため頑張って行きたいと決意しました。今後とも厚木警察署署員、駐在にご支援ご協力宜しくお願ひ致します。